

2016年1月15日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 7-1-5
www.lilly.co.jp

EL16-03

日本イーライリリー 社員が歩いて被災地を支援 「社会福祉法人 中央共同募金会」と「ひょうごボランティアプラザ」に寄付

日本イーライリリー株式会社(本社:神戸市、代表執行役社長:パトリック・ジョンソン)は、社員による地域貢献活動で募った3,467,000円を、「社会福祉法人 中央共同募金会(赤い羽根共同募金)」と、「ひょうごボランティアプラザ(社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会)」に寄付をしたことを発表いたします。今後も、リリーは、阪神・淡路大震災を経験した神戸に本社を置く企業として、被災地支援活動を継続していきます。

リリーは、社員がゴミ拾いなど社会貢献活動を行いながら2km歩くごとに1,000円として算出し、その金額を震災復興などに役立てていただくよう寄付を行っています。2015年度の活動は10月1日(木)から20日(火)にかけて実施され、のべ2,219名の社員が参加し、ウォーキングの総距離は6,377km、募金の総額は、3,467,000円となりました。

今回集まった募金は、東日本大震災の震災復興と、今年、深刻な規模で浸水災害に遭われた常総市の方たちのために役立てて頂くため、1,733,500円ずつ、「社会福祉法人 中央共同募金会(赤い羽根共同募金)」と、「ひょうごボランティアプラザ」に寄付いたしました。

なお、2016年1月16日、ひょうごボランティアプラザが主催の、東日本大震災の支援について考える「東日本大震災復興支援フォーラム」に、リリーは共催します。今回の募金の一部はこのフォーラムの開催に使用されます。



今回の寄付に対し、兵庫県知事 井戸敏三 様、兵庫県社会福祉協議会会長 武田政義 様 連名の感謝状をいただきました。
日本イーライリリー株式会社代表執行役社長 パトリック・ジョンソン。

「東日本大震災被災者招へい事業」および「東日本大震災 復興支援フォーラム」について

被災から5年を迎えようとしている東日本大震災被災者の方々を、1.17 阪神・淡路大震災追悼行事等が行われる兵庫県にお招きし、記念行事への参加や支援団体との交流を通じて、復興への活力につなげていただきます。また、ひょうごボランタリープラザが主催となり、5年目を迎える東日本大震災の支援について考え、兵庫から発信するフォーラムが下記のとおり開催されます。

東日本大震災 復興支援フォーラム

日時：平成 28 年 1 月 16 日(土)

場所：神戸クリスタルタワー3階 クリスタルホール

(神戸市中央区東川崎町 1-1-3 神戸クリスタルタワー)

「リリージャパン・デイ・オブ・サービス」について

世界に拠点を置くイーライリリーカンパニーでは、毎年 10 月 1 日を『リリー・グローバル・デイ・オブ・サービス』とし、世界各国で様々な地域貢献活動を行っています。この一環として、毎年、日本イーライリリーでは「リリージャパン・デイ・オブ・サービス」とされる 10 月 1 日から 10 月 20 日まで、社員がゴミ拾いなど地域貢献活動をしながらか歩き、歩いた距離 1 人当たり2km毎に 1,000 円として算出 (コミュニティ貢献活動を実施すると 500 円/人が加算される。)した金額を、会社が震災・災害復興支援基金などのために寄附しています。

被災地に赴くことが難しくても間接的に被災地の復旧・復興支援に携わり、活動のやり方・内容を社員の自主性に委ねることができるため、全社員がさまざまな形で被災地を支援できる仕組みとして社員のモチベーションアップにもつながっています。

日本イーライリリー株式会社について

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症(AD/HD)、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫、胃がん)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症などの治療薬を提供しています。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチ、乾癬などの診断薬・治療薬の開発を行っています。詳細はウェブサイトをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>